

# 教宣 せぶん

## 「RAに開示」

### 会社こそ人権研修を履行せよ

先日、母店の業務部GLから「【連絡・依頼】業務G担当一覧表」というメールが入りました。支店内の全社員宛のメールでした。開けてみると「公開掲示板リンク先に掲載しました」とあり、リンク先が記されていました。アクセスしてみると、題名に「2009年度業務G担当表」と書かれ、エクセル表が2つ貼り付けてありましたが、右上部に赤字で「RA（リスクアドバイザー）に開示」とわざわざ“注釈”がついていました。2つのエクセル表にアクセスしても、同じく赤字で「RA（リスクアドバイザー）に開示」と書かれていました。

以前は私たちがこうした部店掲示板にアクセスしようとしても「開ける権限がありません」とアクセスを拒否されました。「おかしい」と声をあげることで改善された経緯がありましたが、今度はわざわざこんな“注釈”がついてきました。

こうした“注釈”をつけなければ私たちには開示できないのでしょうか？私たちとはそういう存在なのでしょうか？こんな“注釈”をつけなければ開示できないのなら、初めからメールしてくるなと思います。私たちが正当な扱いをされていない事象に、またまた出くわしました。こうした“注釈”をつけることによって、これを目にした一般の社員はどう思うでしょう？“RA”とはこうした“注釈”をつけなければ、こんな当たり前の情報でも開示してはいけない“特別な存在”だと認識してしまわないでしょうか？

「おかしいじゃないか」と母店のGLに声をあげると、この“注釈”は支店で記したものではないという回答でした。事実なら、おそらく全国の部支店でこうした“注釈”が記されているはずですが、詳細について担当者からはいまだ回答がありませんが、こうした“注釈”をつけることに、どんな客観的で、皆が納得できる理由があるのでしょうか？まったく理解できません。差別を

煽っている意図があるのではないかとさえ感じます。

会社の意図はわかりませんが、こうしたことに「おかしい」と感じる感性がまったく不足しています。経営者こそ、いま一度、何を大切にする会社だと当社が宣言しているか、胸に手を当てて考えるべきです。そして人権啓発研修を再履行すべきです。